


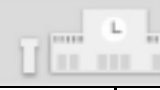

















プログラム名	冬でも田んぼ（休耕田）は生きている						
対象年齢	年長（5～6歳）						
ねらい	メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 植物の冬の過ごし方に気づこう 田んぼのあぜ道に生えている植物の形、色、種類など 田んぼの土の感触（やわらかさ、粘り気、温度など） 冬の自然現象（霜柱など） 土の中で春を待っている動植物の様子 					
	発見・体感できること						
参加者のめやす	幼児 3～20人		/		支援者 3人		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活 動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備				<p>周囲の安全に留意できるよう、事前に危険な場所などをチェックしておきます。 ...稲の切り株にも目を向けましょう。</p> <p>長靴をはいた方がよいでしょう。</p> <p>フィールドへ移動する道中にドングリの木などがあれば、木の様子をふり返り、秋との違いについて考えてみるができます。</p>			
5分	走ったり溝を跳び越えたりして田んぼ(休耕田)やあぜ道を探検する			溝を跳んでみます。 (雨天時は雨でできる水面の波紋を観察します。)			
5分	ぬかるみの中に足を入れてみて、土の感触や温度の違いを手や足で確かめてみる			足の裏から伝わる道の固さを感じとります。 (ふわふわ、じゅくじゅくなど) ぬかるみに入り、感触や音を感じとります。			
							

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
<p>5分</p> <p>5分</p> <p>10分</p>	<p>それぞれが好きな葉っぱを採ってきて、同じ葉っぱを持っている人を探して集まり、グループに分かれて葉っぱを比べる</p> <p>冬でも緑を保っている草や葉っぱを紹介する</p> <p>さまざまな色の葉っぱを集め、キャラクターを描いた絵の上に着せ替え人形の要領で貼り付ける</p>	<p>暖かな日であればその場で、寒ければ園（室内）に戻ってから、観察したり図鑑で調べたりしましょう。</p>  <p>ロゼット植物を紹介し、植物が厳しい環境の中で生きる工夫をしていることを伝えたり、話し合ったりします。</p> <div data-bbox="451 696 1342 1066"> <p>【豆知識】 ロゼット植物</p> <p>「ロゼット」とは、バラの花の形を意味する言葉。根ざわから放射状に葉を何枚も出して地面にはりついている植物を「ロゼット植物」といいます。 （タンポポなどの多年草やヒメムカシヨモギ、オオマツヨイグサなど）</p> </div>  <p>土を覆っている枯れ草をめくったり土を掘ったりして、春を感じるものを探してみましょう。また、雪が積もっている場合は、雪をどけてみましょう。</p> <p>移動させたものは元に戻し、春になったらもう一度見に来てみましょう。</p> <div data-bbox="552 1234 799 1346"> <p>個性的な服のできあがり。似合うでしょ！</p> </div>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少・年中 歩くこと（活動）を活動の中心にして、さまざまな感触を感じとって楽しめます。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>園庭や家庭の身近なところでも植物の冬芽を探してみましょう。</p> <p>動物はどのような工夫をして冬を過ごすのか、みんなで話し合ってみましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・菓子箱（白い布かタオルを敷いておく、数個～グループ数分） ・白い布（の活動のグループ数分） ・キャラクターの絵（の活動のグループ数分） ・図鑑 ・ループ 	

